

## 令和5年度第2回学校給食南部センター献立委員会会議次第

日 時 令和6年2月27日(火) 16時～  
場 所 佐久市学校給食南部センター 研修室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 会 議 事 項

(1) 令和5年度学校給食反省と来年度の計画について

(2) 学校給食エネルギー給与目標量(食事摂取基準)の算定について

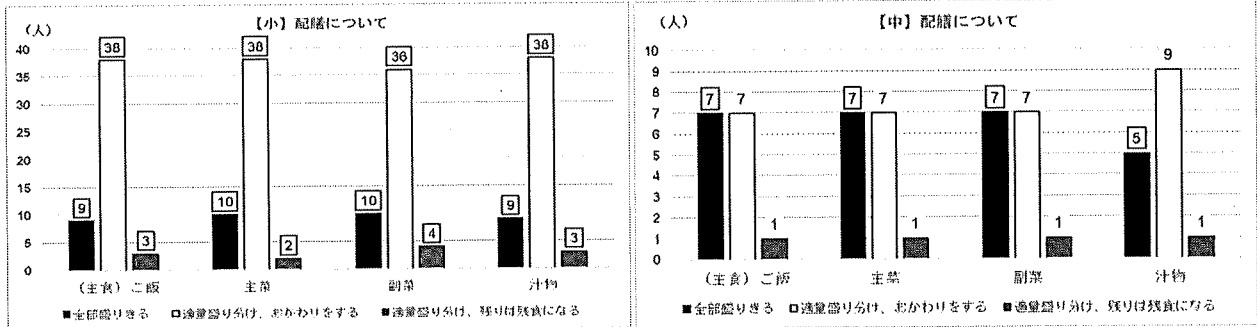
(3) その他(意見交換等)

6 閉 会

# 令和5年度 学校給食 一年間の反省と来年度への要望（アンケート集計結果）

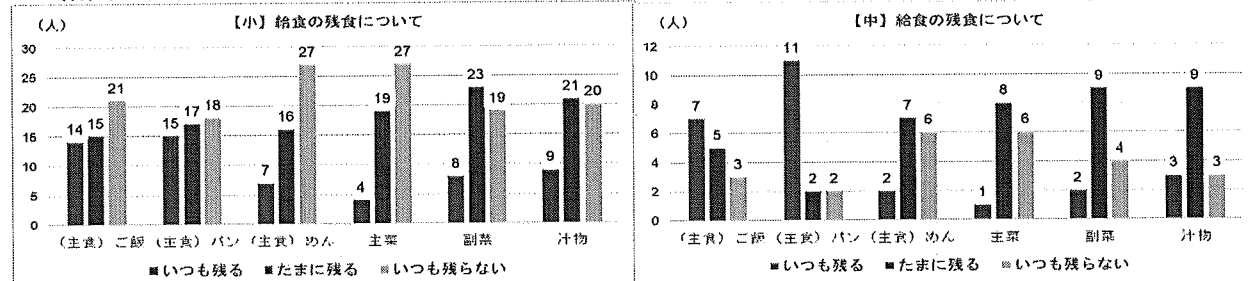
対象:教職員 回答者数:107名(小学校73名、中学校34名) 方法:Googleフォーム 実施期間:令和6年1月5日~1月19日

## 1 給食の配膳について



小学校は「適量盛り分け、おかわりをする」が多く、中学校は「全部盛りきる」ことが小学校に比べ多い。

## 2 給食の残食について



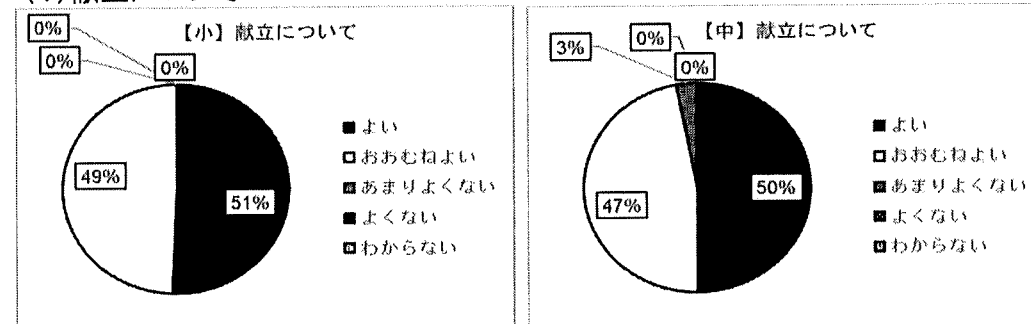
主食のご飯とパンは、おかず(主菜、副菜、汁物)に比べ、残る傾向。

### <意見・要望>

- ・放送の説明までに「いただきます」が間に合うようにするのが1年生の課題です。残食は少なくよくおかわりをして感心しています。
- ・1年生は食べるのに時間がかかってしまい、残してしまうことが多く、すみません。成長につれて、少しずつ食べる量が増え、早さも身につくと思います。
- ・残食を少なくしようと生徒は努力していますが、どうしても残ってしまう場合もあります。ご理解いただきたくお願いいたします。

## 3 給食内容について

### (1) 献立について



献立について、「よい」または「おおむねよい」が(小)100%、(中)97%の回答であった。

### <意見・要望>

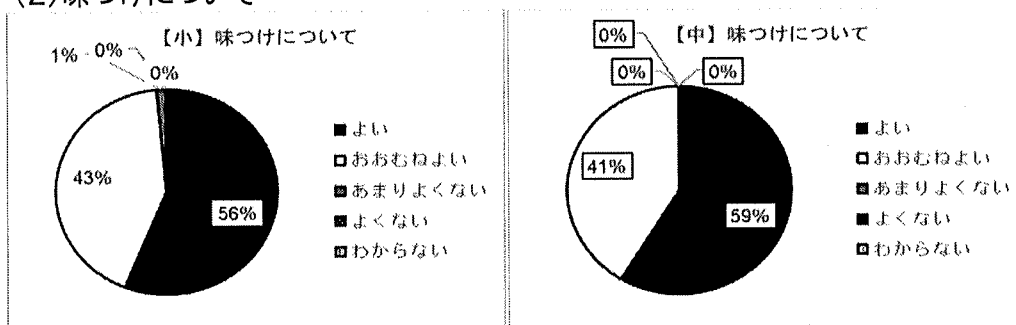
- いつもおいしい給食、子どもたちは楽しみにしている、工夫されている、感謝、ありがとうございます。(多数)
- 食材費高騰の中、工夫してくださりありがとうございます。(3)
- スープ類など、暖かいままいただくことができ感謝です。(2)
- 食材の食べやすくする工夫や彩りの美しさなど、丁寧に考え作られていることが感じられ本当にありがたいです。
- 家庭ではあまり食べることのない食材を使っただき、ありがたいです。
- 地域食材、旬の食材、彩り、食感、全てが教育になっていてありがたいです。
- 健康を第一に考えて、沢山のメニューを美味しく頂いています。

○個人的に、魚のレモン揚げやのりマヨのサラダがとても好きでご飯がいくらでも進んでしまいます。これからも栄養豊富で美味しい給食をよろしくをお願いします！

○今年度より佐久に異動してきました。長野市、松本市はじめ、県内各地のセンター給食を頂いてきましたが、佐久のセンター給食がいちばんおいしいです。(パンも含め)

- ・新しいメニューを開発してもらいたい。(2)
- ・カレーの回数を増やしていただけると嬉しいです。(2)
- ・児童生徒の希望献立を増やしていただけると嬉しいです。
- ・豆の料理もおいしくいただいています。ただもう少し日をあけて出していただけると嬉しいです。
- ・味噌汁が大好きな子どもたちが多いです。ひじきなどの海藻、切り干し大根、ごぼうなどの根菜類のサラダが苦手な子どもたちが多めです。
- ・少ない給食費でやりくりしていただきありがたいが、総じて鶏肉が出るメニューが多いように感じます。酢豚の肉を魚に変えて調理したように、魚をもう少し多くしてもいいのではないかと思います。
- 肉で、スープに入っている肉も鶏肉など)
- ・料理の組み合わせがうん？と思うことがある。揚げパンは、子どもたちは好きだが、ミートボールがおかずのときはシンプルなコッペパンのほうがいい。
- ・ペンネとパンの日にはパンの残りがとても多い。減量パンにするなど配慮して頂きたい。
- ・パンの時には、パンに合う付け合わせをご用意いただけるとありがたいです
- ・揚げパンが人気で、もう少し出していただけるとありがたいです。(3)
- ・コッペパンの中にブドウやニンジン混ぜてあるとうれしい。
- ・おいしいパンになるようご指導いただきたい。
- ・ソフトめんの回数を増やせるのであれば、増やしてほしい。

## (2) 味つけについて

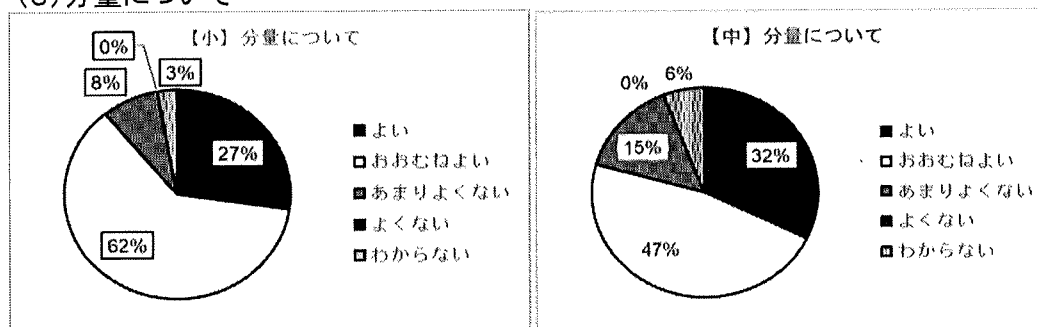


味つけについて、「よい」または「おおむねよい」が(小)99%、(中)100%の回答であった。

### <意見・要望>

- ・味の濃さ、量にばらつきがある

## (3) 分量について

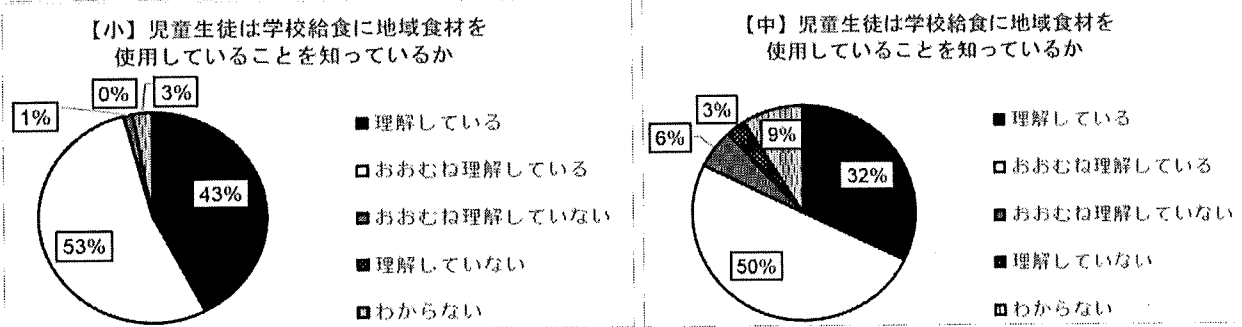


分量について、「あまりよくない」または「よくない」が(小)8%、(中)15%の回答であった。

### <意見・要望>

- ・1年生の米の量が多めかなあと感じます。
- ・パンが1年生には多いので、1枚にする、小さめのコッペパンなどにできないか。
- ・パンが大きいと言っている子が多い。
- ・量が多いので、もう少し少なめがいいです。
- ・副菜が多い日と少なめの日があるので、揃えて頂けるとありがたいです。できるだけ同じ量にさせていただけると、子どもたちも配膳しやすく、美味しく安心して食べられると思う。(4)
- ・職員室の配分量が多い。各学級での不足はほとんどないので、減らしていただけるとありがたい。(2)

(4) 児童生徒は学校給食に地域食材を使用していることを知っているか

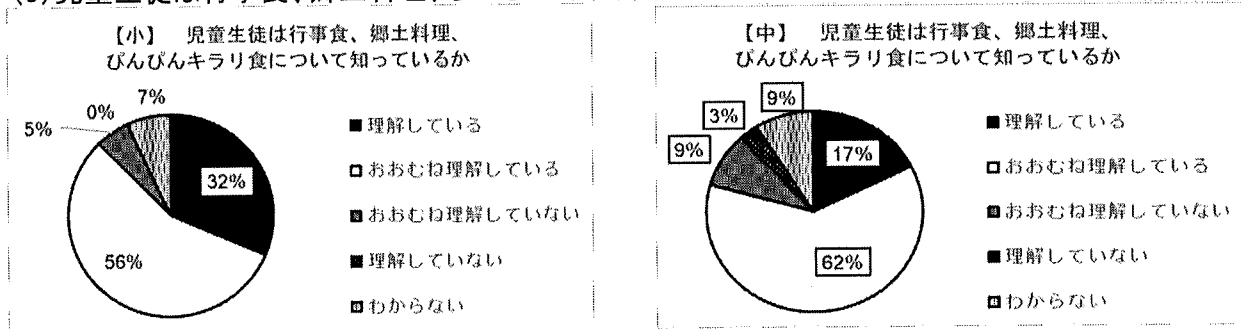


地域食材の使用について、児童生徒が「理解している」または「おおむね理解している」が(小)96%、(中)82%の回答であった。

<意見・要望>

○地域食材を大切にしてください、とてもいいと思います。今後も取り入れてください。(2)

(5) 児童生徒は行事食、郷土料理、ぴんぴんキラリ食について知っているか



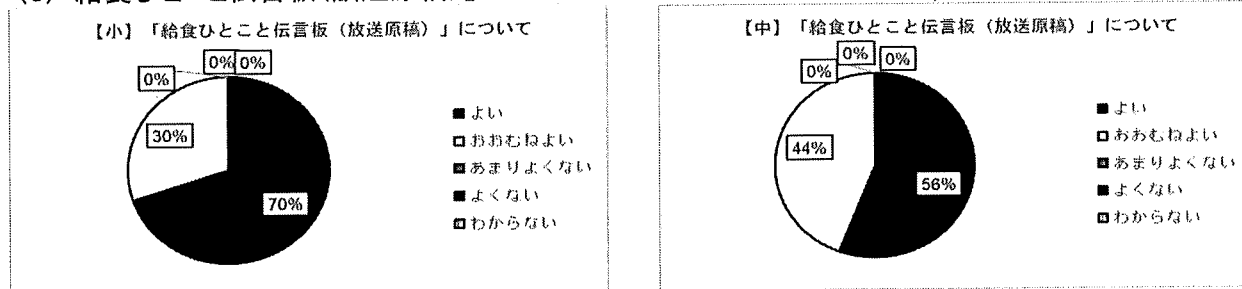
行事食、郷土料理、ぴんぴんキラリ食について、児童生徒が「理解している」または「おおむね理解している」が(小)88%、(中)79%の回答であった。

<意見・要望>

○行事食や地域食材など(各家庭では感じられなくなっている)ことを知り、味わうことのできる子どもたちにとって大変貴重な機会になっています。

○廊下に掲示してある栄養のニュースは結構役立ちます。

(6) 「給食ひとこと伝言板(放送原稿)」について



給食ひとこと伝言板について、「よい」または「おおむねよい」が(小)(中)100%の回答であった。

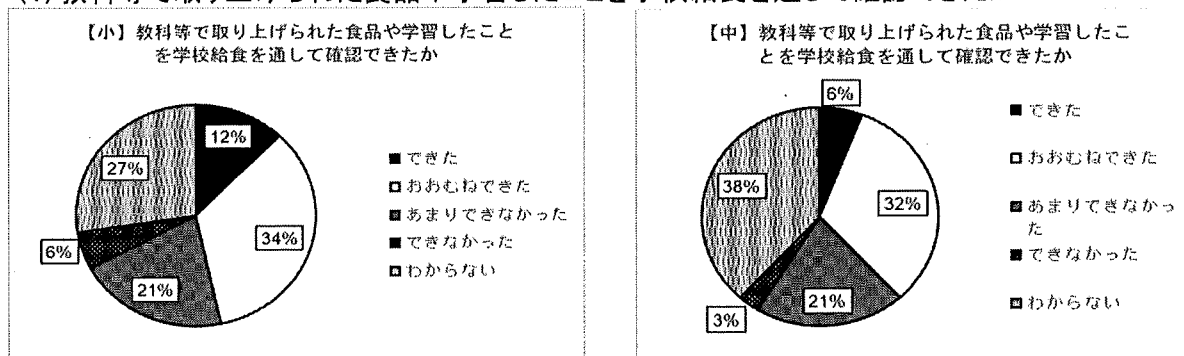
<意見・要望>

○一言伝言板の内容が工夫されていてとてもいいです。クイズ形式は、思わず引き込まれるし、豆知識がいっぱいで学びがあります。

○毎日放送で給食だよりが読まれるので、色々なことに興味もて、子どもたちは幸せだなと思っています。

## 4 食に関する指導について

### (1)教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認できたか

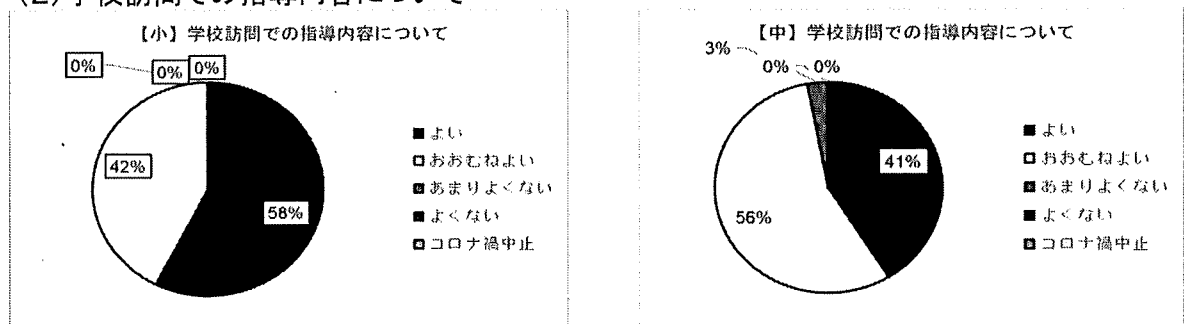


教科等の学習を学校給食を通して確認できたかについて、「あまりできなかった」または「できなかった」が(小)27%、(中)24%の回答であった。

#### <意見・要望>

・給食委員会と連携を取ってクイズを作ったり、連絡方法を工夫すると、学習内容が深まる良い機会になるのではないかと感じます。

### (2)学校訪問での指導内容について



学校訪問での指導内容について、「よい」または「おおむねよい」が(小)100%、(中)97%の回答であった。

#### <意見・要望>

○給食センターの方のお話を直接お聞きできるいい機会でした。子供たちが興味を持って聞いていました。続けていただきたい。(3)

○カルシウムの重要性を分かりやすく教えて頂きありがとうございました。

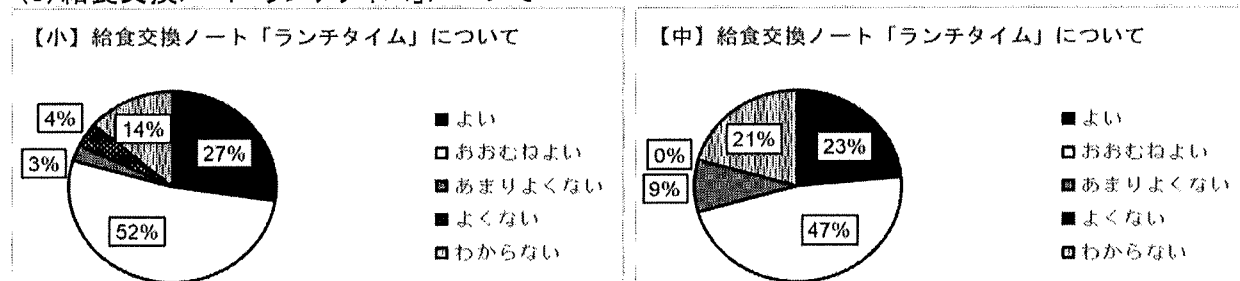
○実態を知っていただくのに良いと思います。

・地域の食材についてあまり知識がないため、どのような食材が利用されているのか教えていただけるとありがたいです。

・食事の意義やマナーについても指導ください。

・給食中の指導では生徒の理解が中途半端になってしまう気がします。

### (3)給食交換ノート「ランチタイム」について



給食交換ノートについて、「あまりよくない」または「よくない」が(小)7%、(中)9%の回答であった。

#### <意見・要望>

○お返事がとても温かくて嬉しいです。お仕事お忙しい中なのに、ありがとうございます。

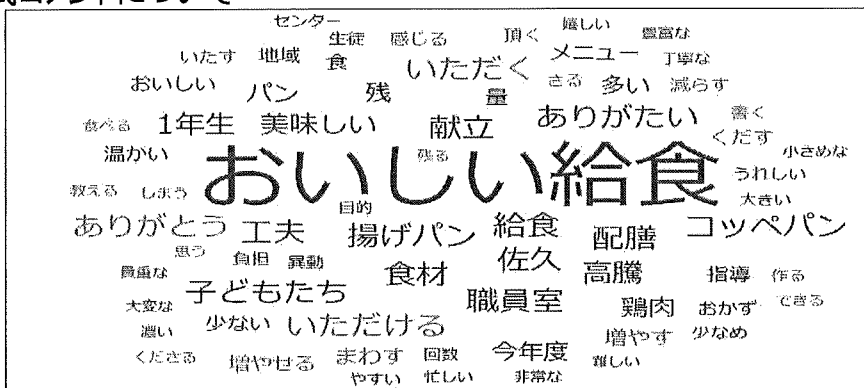
・負担が大きい。大変なときはいい、と書いてくださっているのはありがたいが、毎日まわす必要があるか検討してほしい。目的が不明瞭。(7)

・子どもたちの給食の様子を知ることが目的であれば、毎日でなくとも、週に1回まとめた交換でもよいのではないのでしょうか。交換ノートの記述が学級担任にまわってくる頻度が年に1回程度ならば、回答を負担に思いません。

## 5 その他の意見・要望

- 学校保健委員会での講演、とてもわかりやすかったです。
- 異物混入の際、ご丁寧に対応いただきありがたかった。（野菜は小さな虫がついていることもあり、本当に大変だと思います。いつもありがとうございます。）
  - ・食缶の蓋が開けにくいことがあるので、チェックをしていただくとありがたいです。
  - ・おかず容器の取っ手にシリコンカバーをつけると熱くて持てない事がなくなると思います。
  - ・左利きの子どもが、副菜を配膳するとき先割れお玉を右手に持ち替えています。先割れお玉ではないもので配膳できると嬉しいなと思います。
  - ・返却のルールが厳しく、校内で委員会によるペナルティ(青紙)が存在します。非常に細かい項目でペナルティがあるので、時代にそぐわない気もしています。ルールの精査をお願いしたいです。
  - ・教室に入れない生徒の給食を職員室に入れられるようにお願いしたい。
  - ・5月の食数報告が4月5日だが、今年度は3日が月曜のため、勤務日3日間で作成し報告しなければならなかった。他の業務をしながら、また、異動直後ということもあり、大変苦労した。来年度は1日から勤務日で5日間あるのでよいが、今年度のような時は、締切日をおと1日ほどのばしていただけるとありがたい。調整休をとる先生の給食止めについて、同じ市内でも、している学校としていない学校がある。職員の給食止めのルールを給食センター管内だけでも統一していただけるとありがたい。

## 6 記述式コメントについて



※ユーザーローカルAIテキストマイニングツールによる分析

### 南部センターより

Googleフォームの形式で、先生方よりたくさんのご意見をいただきありがとうございました。年々わずかではありませんが、よい意見のポイントの割合が増加しています。全てを掲載できませんでしたが、いただいたご意見をもとに改善していきたいと思います。

- ・給食内容について、物価高騰の影響で厳しい面もありましたが、学校給食摂取基準を踏まえながら、今後も食育の視点を意識した献立作成を行い、改善・工夫に努めていきます。
- ・主食については、毎年主食業者へ視察に行き、要望・改善のお願いや意見交換を積み重ねている。少しずつ改善されてきている部分もあり、継続していきます。
- ・分量について、学校給食は文部科学省の児童生徒の食事摂取基準をもとに献立作成しており、今年度も各校養護教諭より児童生徒の身長体重データより、成長期に必要な推定エネルギー量を算出した。成長期に必要な栄養量について理解をすすめるとともに、残食をみながら、学年・学級に応じた量について検討したい。野菜のかさ等で大きく変動する副菜について、できる限り均等になるよう研究を重ねたい。
- ・地域食材、行事食、佐久市の健康長寿食のびんびんきざり食等について、献立年間計画に基づき一年間を通して行っている。ひとこと伝言板や食育だより、学校訪問、掲示資料等工夫し、興味関心が高まるよう啓発していきたい。教科等との関連づけなど、給食から児童生徒の学びにつなげていきたい。
- ・給食交換ノートについては、センター給食であり直接喫食者(児童生徒)の意見を聞く目的として実施している。反省意見から先生方の負担を減らすため、一昨年より回数減らし各学級年2回(2日連続)実施としている。センターからも書くことでつながりを持ち、食育の一環と考えたい。来年度も計画的に取り組んでもらえるよう事前に年間計画をお示ししますので、ご活用ください。方法や期間について検討しましたが、一週間等長くお預けすると返却の心配がでてきますので、今年度の方法で計画します。ノートの表紙に記載してありますが、忙しい時は、未記入のままご返送ください。
- ・学校給食という生きた教材を通して、子どもたちが生涯にわたる健康を考え、望ましい食習慣を身に付けることができるように、お寄せいただいた子どもたちの課題も踏まえ、学校の先生方と連携して食育をすすめていきたい。そのために、食の全体計画をもとに各学校で食育が行えるよう、給食センターとしても協力、支援していきたい。各学校での食育や教科等の授業も栄養教諭とTTで授業計画を行っていただきたく、今年度も提案し半数の学校で実施できた。次年度は全校で実施できるよう計画したい。資料提供や、保護者への啓発や講話、個別指導やご相談等の依頼もお答えしています。今年度よりセンター見学、試食会、職場体験等も全面再開しておりますので、食育の場としてご活用ください。
- ・食缶や配膳用調理器具について、市予算計画の元、定期的に交換していきます。すぐに購入できるわけではないので、調理器具に限らず不具合がある場合は、その日に給食主任の先生へ渡しいただき、センターへ連絡・返却いただくと早めの対応ができるのでお願いします。

# R5年度 学校給食食物アレルギー対応についてのアンケート結果

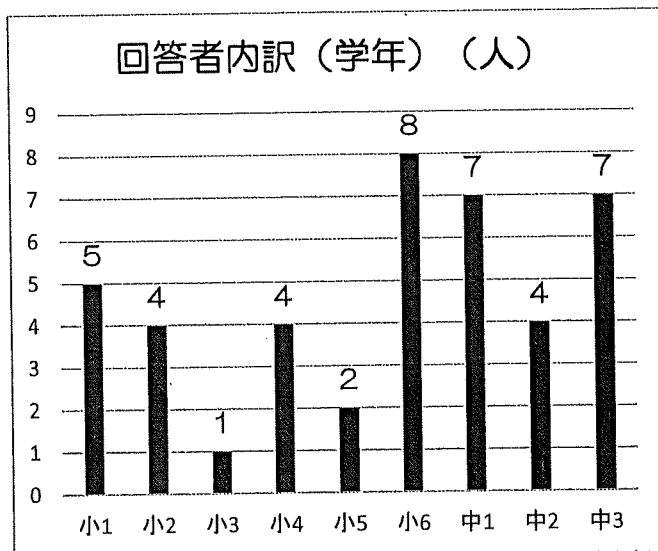
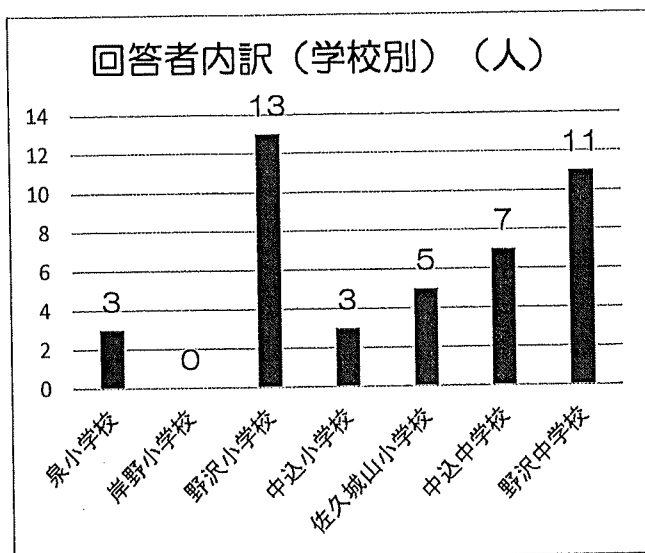
対 象 : 食物アレルギー対応食実施保護者

回 答 数 : 42名(小学校 24名、中学校 18名)

方 法 : Googleフォーム、用紙 実施期間 令和6年1月16日～1月23日

回 答 率 : 42名/50名 (84%)

(Googleフォームにて回答 30名 用紙にて回答 12名)



## 1. 毎月の書類について

よい	95%
よくない	5%

- ・メールの一斉送信や、オクレンジャー等工夫してペーパーレスにはならないのか。
- ・コピーの繰り返しで、成分の詳細が見つからないものがある。
- ・毎月同封されている書類ですが、結局廃棄してしまうものですし、ペーパーレス化など何か検討頂いても良いのかなと感じています。確認したい方の為にQRコードを載せた用紙を同封し、アクセスしてもらう等…結構な枚数があるので捨てるたび勿体無いなあと感じています。
- ・毎月の資料が多いので、詳細な成分表とかは、PDFなどのデータになりませんか。

## 2. 次年度の対応申請について

よい	93%
よくない	7%

- ・医師に依頼する書類が例年より早く手元に届いていたので、今年度は余裕を持って準備、提出ができました。
- ・毎年同様の記載を手書きでするのはかなり面倒です。このようなアンケート同様、QRコードを使用し、手書きや紙使用をなんとかしてほしい。
- ・毎年同じ内容を書くのは大変なので、変更点だけ記入するような方法を検討してほしいです。

### 3. 対応食の内容について

お子さんは対応食を安心して食べていると思いますか

そう思う	92%
おおむね思う	4%
思わない	0%
わからない	4%

- ・ 小学校6年間でも、一度も間違いもなく、いつも温かい給食が提供されて美味しいと言っています。
- ・ 対応食にして頂く前は、給食を食べてお腹が痛くなったりしていたので、それがなくなり安心して思っています。
- ・ 数人のために代替食を作ってください、本当にありがたいです。それも、妥協ではなく、時には他の子と同じようなものを、時には使えそうな食材を工夫して作って頂き、感謝しかありません。
- ・ 結局、該当食材が出た事がなく、対応食の経験がないので、良くわからない。
- ・ いつも個別に対応していただき、大変だと思いますが、おかげ様で安心して食べることができ、とても感謝しています。お店などで確認しようとするとう面倒くさがられたり、適当に確認されて終わってしまったりすることがあり、アレルギーがない人たちにも、アレルギーが命に関わる軽視できないケースもあるということを知っていただく必要性を感じます。一般に広く知っていただけるよう、できれば義務教育の時点で教育の一貫として組み込んでいただければと切に願います。

### 4. その他の要望、意見等

- ・ 息子のために代替メニューをいつもご用意していただきありがとうございます。来年度から解除していただきます。ラスト一年、大好きだった給食のカレーをたべられるのをすごく楽しみにしています。大変お世話になりました。
- ・ 学校を欠席した場合、給食センターに電話で連絡ということになっていますが、連絡が朝早くしたくてもセンターにスタッフがいないため、連絡がつかず、後からと思っても仕事で連絡することが難しいときがあります。可能でしたら、オクレンジャーなど、連絡できるようなシステムだと大変ありがたいです。
- ・ 我が家はもう卒業ですが、パンの代替えを検討いただけるとありがたいです。親からすると、アレルギーを気にすることないのには思いますが、本人は持参したパンをタッパーから出して食べることが恥ずかしく、食べずに帰ってくることもありました。費用面など課題はあると思いますが、差額分を別納したとしても、アレルギー用のパンを出していただけたらありがたいです。九年間の給食も残りわずかとなりました。アレルギーがわかってから不安もありましたが、本当にしっかりとした対応をしていただき、おかげさまで「大好きな給食」を安心して楽しむことができました。入学前、まだアレルギー対応食がなかった時期に、対応食を求める活動をしてくださった先輩保護者の皆さん、それに応えてくださった佐久市、毎日の代替え給食を考え、作ってくださった給食センターの皆さん、安全な配食を担ってくださった先生方、代替食を温かく見守ってくれたお友達、たくさんの方々の支えに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

#### <給食センターより>

アンケートにご協力いただきありがとうございました。毎月の書類について「よい」の回答が95%、次年度の対応申請について「よい」の回答は93%でした。対応食を安心して食べていると思うかについては「そう思う」「おおむね思う」の回答が96%でした。書類については今後ペーパーレスを検討していきたいと考えます。また、欠席連絡方法についても考えていきます。アレルギー対応食については、安心して食べていただけていることがわかりました。今年度は申請書類の変更から、保護者の皆様には例年よりも受診を早めていただき、来年度へ向けた継続書類提出にご協力いただきまして感謝申し上げます。

今後も安心安全でおいしい給食を作っていけるよう、保護者の皆様、学校と連携し進めていきたいと思っております。



令和5年度 学校給食エネルギー給与目標量（食事摂取基準）の算定について

1 栄養アセスメント

学校給食における栄養管理は、学校給食法第八条の学校給食実施基準に示されている「児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準」に基づいて行われている。本基準は「全国的な平均値（男女比1:1、身体活動レベルⅡ）を示したものであるから、運用に当たっては弾力的に運用すること」と明記されている。そこで、本センター7校（小学校5校、中学校2校）の養護教諭と連携し児童生徒の身長体重のデータから推定エネルギー必要量を算出し実態把握（アセスメント）を行った。

2 対象 全児童生徒

小学校5校：泉小学校 岸野小学校 中込小学校 野沢小学校 佐久城山小学校

中学校2校：中込中学校 野沢中学校

本データ 身長・体重測定値（令和5年 4月～6月：測定）

3 児童・生徒の体位から推定エネルギー必要量（kcal）算出

児童生徒の体格から推定エネルギー必要量を求め、その33%を学校給食摂取基準値(文科省)と比較した。なお、身体活動レベルは、学校給食摂取基準に準拠する。

R5年度 栄養アセスメントによる学校給食摂取基準のエネルギー算出について（児童・生徒の体位から算出）

表1

※小学校5校：泉小学校、岸野小学校、野沢小学校、中込小学校、佐久城山小学校、 中学校2校：中込中学校、野沢中学校

学年 (年齢)	身体活動 レベル (Ⅱ)	性別	人数 (人)	平均身長 (cm)	平均体重 (kg)	標準体重 (kg)	基礎代謝基準値 (kcal/kg/体重/日)	エネルギー摂取量 (kcal/日)	基礎代謝量 (kcal/日)	推定エネルギー必要量 (kcal)		
										標準体重× 基礎代謝基準値	基礎代謝量×身体 活動レベル+エネ ルギー摂取量※1	1日(※1×人 数(男女/人数 (男女))
1年 (6歳)	1.55	男子	127	116.1	21.0	21.1	44.3	15	936	1467	1421	474
	1.55	女子	120	115.5	21.0	20.8	41.9	20	872	1372		
2年 (7歳)	1.55	男子	141	122.5	24.2	24.0	44.3	15	1062	1661	1607	536
	1.55	女子	117	121.7	23.6	23.4	41.9	20	982	1542		
3年 (8歳)	1.6	男子	133	127.9	27.4	26.9	40.8	25	1098	1782	1728	576
	1.6	女子	125	127.9	26.6	26.8	38.3	30	1025	1670		
4年 (9歳)	1.6	男子	157	132.6	30.0	29.7	40.8	25	1212	1964	1922	641
	1.6	女子	119	133.4	30.3	30.0	38.3	30	1148	1867		
5年 (10歳)	1.65	男子	116	138.9	33.9	34.0	37.4	40	1272	2140	2066	689
	1.65	女子	121	140.1	34.3	34.2	34.8	30	1191	1995		
6年 (11歳)	1.65	男子	147	146.4	39.5	39.3	37.4	40	1472	2468	2365	788
	1.65	女子	129	146.3	38.9	38.6	34.8	30	1344	2248		
1年生 (12歳)	1.7	男子	133	151.5	44.5	43.0	31	20	1334	2287	2255	752
	1.7	女子	154	151.6	43.8	43.8	29.6	25	1295	2227		
2年生 (13歳)	1.7	男子	145	160.3	52.1	49.3	31	20	1528	2618	2510	837
	1.7	女子	121	154.3	49.0	46.8	29.6	25	1385	2380		
3年生 (14歳)	1.7	男子	125	165.5	56.2	54.0	31	20	1674	2866	2691	897
	1.7	女子	147	157.0	50.8	50.0	29.6	25	1480	2542		

表2

学年 (年齢)	身体活動 レベル (Ⅱ)	性別	南部センター 推定エネルギー必要量		学校給食摂取基準 (文科省)	
			平均身長 (cm)	1食 (1日/3食) kcal	(kcal)	平均身長 (cm)
2年 (7歳)	1.55	男子	122.5	536	530	122.6
	1.55	女子	121.7			121.4
4年 (9歳)	1.6	男子	132.6	641	650	133.6
	1.6	女子	133.4			133.4
6年 (11歳)	1.65	男子	146.4	788	780	145.2
	1.65	女子	146.3			146.2
2年生 (13歳)	1.7	男子	160.3	837	830	160.0
	1.7	女子	154.3			154.8

#### 4 結果

- ・児童生徒の体位から推定エネルギー必要量は、小学校、中学校において、国の基準と大きな差異はなかった。(表2)
- ・中学校の学年別身長の変化では1学年と3学年では男子14cm、女子では5cmの差があり、学年ごとの差異が大きい。(表1)

#### 5 考察

国の平均身長とほぼ小学校では差異はなく、推定エネルギー必要量もほぼ同じであったが、中学校では学年ごとの差異が大きい。中学校では主食量が一律になっているが、今後、ごはんの量については学年ごとに対応できるか等、検討をすすめていきたい。

推定エネルギー必要量の過不足は、成長曲線により評価していくが、栄養素の過不足については残食量も含め献立に反映していく必要がある。

来年度も養護教諭と連携しながら継続的に栄養アセスメントを行っていくとともに、中央値から外れている四分位範囲の痩身・肥満児について個別に対応していく必要がある。養護教諭、給食主任、学級担任と連携していく体制を作りたい。

#### 6 次年度に向けて

- ・南部センターで食べている児童生徒の体位を知ることは重要なことであり、文部科学省の数値を勘案しながら適正なエネルギー必要量を算出し献立作成に努めていく。
- ・来年度も4月身長体重測定値で算出し、学校給食における適正な必要エネルギー量を基準に給食管理を進めていきたい。